

2022年8月27日(土) 講演会資料①
主催：(一般社団法人)障がい児成長支援協会
共催：株式会社 まなぶ(障がい児成長支援協会西尾支部長)

不登校や特別支援学級の生徒の 中学校卒業後の進路について

- 不登校や特別支援学級の生徒が入学できる様々な高校がある
- 特別支援学校高等部と高校の違いは何か？
- 通常の特別支援学校高等部と高等特別支援学校の違い

(一般社団法人)障がい児成長支援協会 代表理事・協会長
中部学院大学 山内康彦(学校心理士・ガイダンスカウンセラー)

(進路①) 特別支援学校高等部に入学

- 障害者手帳を使って障害者枠で就労
- 原則「中卒と同じ」
- 就労率は3人に1人
- 就労の多くは、作業所
※障害者手帳が必要



(進路②) 高校に入学

- 高卒で支援学校の過去が消える？
- 高卒と手帳で公務員受験もあり！
- 特別支援学級から進学できる高校有

知っていますか？ 中3後の進路について
中卒で働く子は500人に1人？
自営でなければ、正社員はまず無理

「フリーターで生きる」と言った友だちの末路

若いときには、アルバイトがある。
時給900円で1日7千円程度
1か月10万円程度？

- 住居代
- 車代
- 食費
- ゲーム購入費

生きていくことがやっと！！病気の時、老後は？



特別支援学校高等部には2種類ある？

1 「通常の特別支援学校高等部」

- 作業訓練→障害者就労 ※全員合格！
- 「通常の学習(肢体・病弱)」→進学も可
※入学試験有り(通常の学力必要)

2 「高等特別支援学校」※水戸特別支援学校

愛知では「豊田」「大府」「春日井」の3つ
大阪では「すながわ特支」等
ほぼ全員が卒業後一般就労へ！！

※入試有(学力《小4~5程度》・面接
・作業◎全寮制or自立通学が原則)

何が自分のお子さんにとって幸せか？
18歳の出口から今やるべき教育を考える

- 1 障害者手帳を使って障害者として生きていく
→支援学校高等部へ進学する
- 2 高卒資格を取得し、健常者として生きていく
→高等学校へ進学する
- 3 「1」と「2」の合わせ技で生きていく
→障害者手帳をもって高等学校へ進学する

※高卒資格をとっても紙切れだけでは意味なし！
※支援学校卒業でも幸せに生きている人は多い！

高等学校にも様々な種類がある？

1 「通常の高等学校」(公立・市立)

5教科500点の学力+内申書《通知表1~5》
※原則通常学級でないとなし！！

内申書の点数は、中2から？ 中1から？
※支援級でも内申書ができる場合有(※要確認)
※定員割れした底辺校への入学は危険！

2 「特別な高等学校」

- 障がい児を受け入れる高校(私立)
- 専修学校(専門学校+通信制高校)
- 通信制高校(サポート校)

専修学校の注意点(大丈夫ですか?)

1 「専修学校」(専門学校+通信制高)

- △学習内容は、通信の74単位+専門学校
- △基本は生徒40人に1人の先生、支援は少ない
- ◎子どもの興味関心と学校の内容が合えばよい
- △「行くところが他にないから」と安易に選ぶと毎日、一日中嫌な学習を続けることになる
- 体育祭や修学旅行などの学校行事が豊富

2 「通信制高校のみ」

- 学習内容が少ない74単位
- 小集団や少人数の支援が中心
- 欠席や遅刻も柔軟



①公立高校 特別支援対応校

(定時制・単位制・インクルーシブ枠・通級)

- 定時制高校・・・◎安い ○4年制も有(今は、“夜間”とは限らない)
- 単位制高校・・・◎安い ◎登校が少(学校によって様々な仕組み)
- インクルーシブ枠(通常の高校に特別枠が数名ある)
- 通級・・・小中と同様の制度が高にも(まだまだ見切り発車のところがある)

通常の高校と通信制の高校の違い①

①入試の違い

- (通常の高校) 5教科500点+内申書
- (通信制高校) 面接のみ(学力テストある所も)

②入学後の学習内容の違い

- (通常の高校) 4分の3出席 全教科赤点なし
100~110単位で卒業
単元・期末テスト中心に評価
- (通信制高校) 74単位(30%近く少ない)
テストよりレポート等で評価

③卒業の後の進路

どちらも普通の“高卒”として次の進路へ

②私立高校 特別支援対応校

(実質少人数で丁寧な支援・指導)

- 支援学級や内申点がなくても受け入れOK
- 卒業後の推薦枠を多く持っている
- ※高校から中学校に事前の説明に来ている
- ※中学の先生に問い合わせれば教えてもらえる(例)
本当の定員は1クラス40名であるが・・・
実際は20名程度で手厚い支援が受けられる学校もある(他県では星槎中学・高校)

通常の高校と通信制の高校の違い②

④学習環境の違い

- (小集団型の通信) 一般的な通信制高校
- (個別中心の通信) 一対一の支援も可能!
※別料金になる学校も有

⑤授業料の違い

- (本校と言われる本部へ) 30万円~40万円
※国から助成金等あり、約半額になるケース多
- (サポート校への授業料) 60万円~80万円
※各学校で奨学金や安くなるプラン有
- ※通信制高校にはオンライン型から登校型まで様々なあり、授業料設定もいろいろある。

③通信制高校

(たくさんの支援が必要な生徒も受け入れ可)

- 出席日数に対して理解がある
- 74単位で高卒という、少ない学習内容
- 少人数・個別中心の指導
- ※「スクーリング」には参加する必要あり
- ▲学費が通常の高校より高くなる
- ・通信制高校行ってもいろいろなタイプがある

《通信制高校といってもいろいろ》

※愛知県内の通信制を調べてみました

- ◎明蓬館SNEC高等学校
- ◎第一学院高校
- ◎KTCおおぞら高等学院
- ◎N高
- ◎トライ式高等学院
- ◎志学高等学院（中京高校通信制）
- ◎NEXT高等学院（中京高校通信制）

※まだまだたくさんあります

特別な高校といっても中身は違う！

(例)ラーメンといってもいろいろあります

・醤油・味噌・塩・まぜそば・つけ麺・博多とんこつ・ジャージャー麺

※麺もスープも具も食べ方もまったく違うが、同じラーメン！

どこを見ればよいのか？

○「人」「もの」「こと」の三観点が重要

○卒業後の見通しも大切

「高卒」の紙切れだけでは意味がない



特別な高校の例「通信制サポート高校」

内閣府特区高等学校（広域通信制／3年生／男女共学）

『明蓬館SNEC高等学校』

- 基礎的な学力があれば・・・（支援級OK）
- 最低限の社会性があれば・・・（不登校OK）
- ①興味ある学びを活かすマイプロ
- ②個別指導中心
- ③療育手帳取得者も3年で卒業
- ④障害者枠で公務員試験も！

1、「人」について

◎まずは、「子どもたちを受け入れる」という姿勢がしっかりある高校かどうか？

その上で・・・

「どのような資格をもって
いる職員がいるのか？」

「どのような経験をもって
いる職員がいるかどうか？」



ただのパートや学生バイトになっていないか？

※通信制サポート校のサポート校の教員には、教員免許の資格の必要性がないことに注意！

※通信高校といえど、文科省が定めた高校の教科書を使って学習をします。指導力は重要！

入学できることより「卒業できる」学校か？ 『卒業後の進路は大丈夫か？』を考える

《進路選びのポイント》

- ①入学試験は何か（学力試験の有無・面接）
- ②進級・卒業の条件
（期末試験の有無・卒業単位数74～110）
- ③先生の専門性（どんな先生がいるのか）
- ④出席日数が一定量必要な学校なのか
- ⑤少人数・個別対応をしてくれる学校か？
- ⑥卒業後の進路や就労の面倒を見てくれるか
- ⑦卒業までの学費はどれぐらい必要か？

2、「もの」について

◎学習環境が整っているか



3、「こと」について

◎どのような内容で学習を進めるのか

- 通信の授業をどのように受講するのか
- 評価がどうなっているか
 - ・期末タイプ？ ・その場タイプ？
 - ・紙のテストに書く？ ・パソコンで解答？
- アルバイトも単位になる？
- スクーリングは必修内容
 - どこでどのようなスクーリングをするのか
 - 保護者同伴も可能？

高卒は、とったものの・・・どうしたら・・・②

「就労移行支援事業」という選択枠

- 2年間の就労訓練
 - ※その子の特性を活かした訓練を実施
- ◎ほとんどお金は必要ない。
- ◎就労の斡旋がプロ（先生はプロではない）

※「就労移行支援事業所」といってもいろいろ

- (例) 知的障害を対象にした事業所
- (例) 精神障害を対象にした事業所
- (例) 農業に特化した事業所

通信制高校もいろいろ(その例を紹介)

《通信制高校A》

- 入学時は、国・教・英3教科の学力試験
 - 合否のラインは『中1程度の学力』
- 入学後は、期末テストで評価→再テスト有
- ※ほぼ通常の高校の教科書を使った学習で単位取得
- 個別指導は別料金（月に+3万円）

《通信制高校B》

- 入学試験は『面接』のみ
- 大きな定期テスト無→学習後の簡単な確認テストと感想
- ※小・中学校の学び直しも高校の単位になる
- 個別指導も通常のサポート料金に含まれる
- 心理師（士）在駐、専門職員が心のサポートも行う

高卒は、とったものの・・・どうしたら・・・③

「就労定着支援事業」という新しい事業

- 就労場所に「ジョブコーチ」がつきます
 - ※本人に対しての就労支援
 - ※周りの職場の人に対する支援

△いきなり知らない人が「ジョブコーチ」として来ても、本人との信頼関係が築けない。
(山内の理想)

- ◎放課後等デイサービスの指導員がジョブコーチ
 - 長年付き合った大好きな指導員が支援する

高卒は、とったものの・・・どうしたら・・・①

「大学進学」「専門学校進学」「就労」

- “高卒”と“障害者手帳”の合わせ技で就労の幅が広がる (※公務員受験も可能となること多)

通信制高校からの進学をめざすなら

- 通常の高校に比べて簡単に評定が高くなる
 - (例) 4.2以上で推薦入学可能！
- ※早めに卒業後の目標を決めて学習を進めていくことが重要です。

必ず体験してから決定すること

- 1 まずは、『パンフレット』を入手する
 - 小学生でも大丈夫！ 強く希望してゲット
- 2 保護者だけで『見学』
 - 10年以上育ててきた親が見学すれば分かる
- 3 子どもを連れて『体験』

※学校から『〇〇がいいよ』とは言ってこない。
保護者が見つけて考えることが原則の時代！
◎事後でよいので、学校には報告してください。

山内の調査から・・・つきたい力は社会性

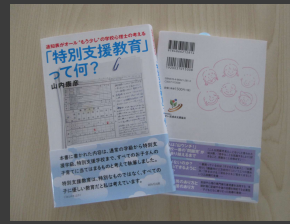
「定形発達」の子どもは学歴で給料が決まる

「特別支援が必要な子」は、学歴よりも『社会性（適応能力）の高さ』で給料が決まる

『S-M社会生活能力検査』を使った場合
129項目達成すると中学生の社会性有

- 7歳の壁・・・就労できるかどうか
 - 12歳の壁・・・10万円程度の給料
 - 中学生の壁・・・一般就労ができる
- ※ぜひ、検査を受けてください。

困り感を共感的に受け止め、早期から適切な支援を継続的に行うことが大切です



特別な支援は、もはや特別なものではありません
全ての子どもたちにとってやさしい支援なのです

ご清聴ありがとうございました。

まずは、何を身につけることが重要なのか
※0歳～15歳までに身につけたい社会性
～S-M社会生活能力検査から～

- 1 身辺自立
- 2 移動
- 3 作業
- 4 意志交換
- 5 集団参加
- 6 自己統制



4月からFMラジオで毎週放送 「山内先生のランチトーク」

毎週火曜日12時～13時

- ①「愛知北FM放送」で検索
- ②下へ→「JCBAで聴く」をクリック
- ③白い“▶マーク”で再生開始！

特別支援に関わる様々なお話を気軽に聴けます。

ご清聴ありがとうございました。

《結論》

- 1 定形発達の生徒に比べて早く準備が必要
- 2 具体的な目標を決めたら、入学条件を調査
- 3 保護者自らが積極的に動いて見学・体験
- 4 学校や放課後等デイサービス、塾、家庭教師等と連携を図って力を付ける
- 5 専門性のある人とつながりを持ち、継続的な相談をする（学校の先生は替わってしまう）

見学・体験入学
随時受付中です

